

平成 26 年度 第 7 回 理事会議事録

(青柳広報局長)

日時：平成 26 年 10 月 28 日 (火) 19:00~20:30

場 所：県士会事務所

出席：(監事) 谷村、齋藤

(理事) 小林伸、高村、磯野、有泉、藤田、
青柳、北山、古屋、笠井、井村

(部長) 鈴木、大内、菅谷、加納、

(委員長) 山田

欠席：なし

書記：伊東・木村

会員管理情報 (10 月 28 日現在)

慶事 0 件 弔事 0 件 施設数 120 会員数 749 休会 37 名

I. 審議事項 (なし)

II. 報告事項 (全題)

1. 関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会：
第 15 回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員
会報告および第 33 回関東ブロック学会視察報告
(山田委員長)

趣意書は作成している。講師・司会の打診を随時行
っており概ね内諾を得ている。企業出展スペースは
14 枠で決定。ポスターデザインは決定しており、ク
リアファイルで 2000 部作成し、1000 部は千葉で配
布した。第 33 回千葉関ブロ学会視察へ 17 名参加。
引き継ぎ、情報収集、広報活動、講師内諾依頼等
を行った。視察を通して学会運営のイメージが深ま
ってきている。直近の課題は各都県への広報活動と公
開講座の講師選定と考えている。

2. 地域支援事業等推進委員会：アクションプランの
進捗状況について

(笠井副委員長)

- 3 士会を一つの束にして行政が動く。厚生労働省
から 3 士会の窓口を一本化して欲しいとの意向あり。
公文書が近々配送される予定。

3. 学術研修部：第 7 回学術研修会報告

(北山学術局長)

平成 26 年 10 月 12 日(日)に石井慎一郎先生(神奈川
県立保健福祉大学)を招いて研修会を行った。昨年
度の大雪により延期した研修会。参加者は 126 名。
事前に内容について講師と打ち合わせができたた
め、治療台を用いて多くのデモができ、参加者の満
足度は高かったと思われる。3 士会合同学術大会の
事前登録は現在 PT55 名(全体 122 名)であり、各
施設にて事前登録の促しの依頼も合わせて報告す
る。

4. 広報部：「理学療法川柳」表彰について

10 月 3 日に川柳優秀作品選定会議を行い、応募数
234 句から優秀作品 6 点を決定した。最優秀賞を受
賞した方の自宅にて賞状と副賞を授与した。当日は
山梨日日新聞の取材を受けた(新聞掲載は未定)。優
秀作品はホームページに掲載している。

5. 委託事業部：講師依頼の対応について

(古屋社会局長)

前回の理事会の審議事項であった介護実習普及セ
ンターからの講師選出について、廣瀬昇先生(帝京
科学大学)に講師依頼の快諾を得て推薦したが、そ
の後、介護実習普及センターより作業療法士会に依
頼変更することとなったと連絡を受けた。廣瀬先生
へ断りの連絡をすることとなった。

6. スポーツ理学療法部：活動報告について

(古屋社会局長)

チーム活動については資料参照。今年度のスポーツ
理学療法勉強会は第 56・57・58 回の開催を予定し
ており、第 57 回の「スクールトレーナー制度の動
向(仮)」については、スクールトレーナー活動で職
域拡大の大きなチャンス制度と思われるので動向
に注目したい。10 月 26 日に関東甲信越スポーツ支
援代表者会議に出席した。インターハイ活動報告の
スライドは各理事へ明日添付送信する。会長よりス
クールトレーナー活動についてトピックスとして
広報へ依頼するようにとの意見が出された。

7. 公開講座部：公開講座進捗状況について

(井村企画局長)

平成 27 年 3 月 1 日(日)に甲斐市敷島総合文化会館
大ホールで開催。講師は京谷和幸氏(車椅子バスケ
元パラリンピック日本代表)に決定。会場は車椅子
での来場を考慮し変更となった。

8. 財務部：支払調書の送付について

(大内財務部長)

平成 26 年 1 月~12 月の謝金を支払った講師(予定も
含む)の住所をメールで連絡を願いたい。

9. 事務局長：協会倫理担当者会議の報告

(藤田事務局長)

9 月に協会主催の倫理担当者会議に出席した。資料
の配布をもって報告とさせていただきます。

III. 中間報告

1. 事業報告

(藤田事務局長)

各局及び委員会から中間事業の報告・確認あり(中
間報告資料参照)。谷村監事より、インターハイは
今年度で終了の事業のため、特別委員会として扱う
ようと指摘があった。

2. 会計報告

(藤田事務局長)

各局及び委員会から中間会計の報告・確認あり(中

間資料参照)。谷村監事より、関ブロの予算がマイナス経常となっているため、積立金から支出して増額してはとの意見があった。高村学会長からは、準備委員会では粛々と運営する方向で考えているが、再度士会からの増額も視野に見直していくとの返答があった。積立金からの資金援助については、申出あれば理事会で検討していく。会費未納者への対応について谷村監事から指摘あり、未納者リストを理事に回覧し各施設で促し、また督促状の準備をしているとの返答があった。谷村監事より、災害時のために基金としてプールする運用を検討願いたいとの意見が出された。

3. 総括

(谷村監事)

1年目は暗中模索の中、運用していた感があったが、2年目に入り通常の団体として円滑に運用していると感じている。3士会合同の事業に関してはPT士会が主導権をとっていただきたい。関ブロ公開講座、講師に関して県内に講師がいないか検討して欲しい。川柳コンテストは好企画であったと思う。

IV. その他

1. 会長挨拶

上半期を振り返り、事務の業務軽減を含め、ホームページの整理を進めている。規定も徐々に整備され、財務の会計処理も整理が進んでいる。インターハイに関しては研修も含め無事終了となった。啓発関係では理学療法の日リーフレットの配布、川柳コンテストを実施できた。来年の関ブロ事業の進捗状況は細かい詰め段階にきている。地域包括ケアシステム関連では3士会合同リーフレットが完成した。各局において年間計画を予定通り進んでおり、監事等に指導を受けながら下半期も事業を進めていきたい。

2. 次回の理事会日程について

日時 平成 **26年11月25日(火) 19:00～**

場所 県士会事務所

駐車場：湯村温泉病院敷地内

連絡 **11月21日(金)までに審議事項および資料を事務局(藤田)へ提出する。**
議題がない場合でも、事務局へ連絡する。